

# AE減水剤 ブリーディング抑制タイプ フローリックLB

近年、良質な骨材資源の枯渇に伴い、ブリーディングの増大や、コンクリートのワーカビリティの低下が課題となっています。また、骨材の低品質化はコンクリートのポンパビリティにも影響を及ぼすため、コンクリートの状態改善が求められています。

フローリックLBは、特にブリーディングを低減させるための対策として当社が独自に開発した、JIS A 6204(コンクリート用化学混和剤)に適合するAE減水剤です。またフレッシュコンクリートに適度な粘性を付与するため、コンクリートの状態を改善し、良好なワーカビリティを実現します。

## 特長

- 通常のAE減水剤の性能に加え、更にフレッシュコンクリートの状態を改善する特殊増粘剤を配合した一液タイプのAE減水剤です。
- 通常のAE減水剤を使用した場合よりもブリーディングを10%～40%低減することができます。
- フレッシュコンクリートに適度な粘性を与え、材料分離を抑制し、ワーカビリティの良好な高品質のコンクリートを製造することができます。
- フレッシュコンクリートの状態を改善することにより、コンクリートのポンパビリティが向上します。

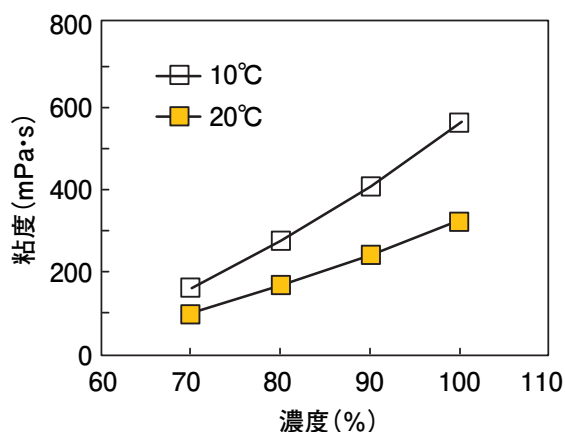
## 物性

区分	AE減水剤標準形(I種)
主成分	ポリカルボン酸系化合物、界面活性剤系特殊増粘剤
外観	茶褐色液体
塩化物イオン量(%)	0.00*
アルカリ量(%)	0.2*
密度(g/cm <sup>3</sup> )	1.00～1.08

※分析値例

## 使用方法

- フローリックLBは、単位水量の一部として計算してください。
- フローリックLBの標準使用量は、セメント質量に対し1.5wt%ですが、使用目的に応じて1.0～3.0wt%の範囲で使用してください。
- 原液の粘性が大きい場合は希釈品を使用してください。



フローリックLBの濃度と粘度の関係



## JIS A 6204 (コンクリート用化学混和剤) による試験結果

項目		AE減水剤 標準形 I 種 (規定値)	フローリックLB
減水率 (%)		10以上	15
プリーディング量の比 (%)		70以下	37
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+20
	終結	-60~+90	+25
圧縮強度比 (%)	材齢 7日	110以上	117
	材齢28日	110以上	116
長さ変化比 (%)		120以下	93
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60以上	90

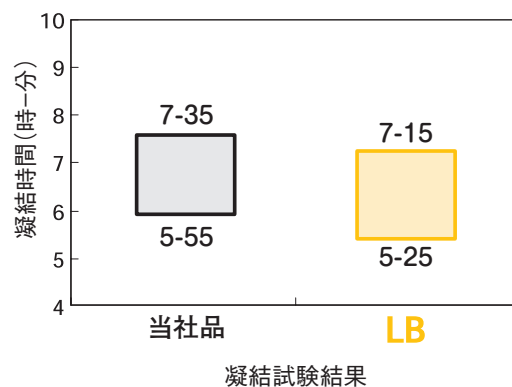
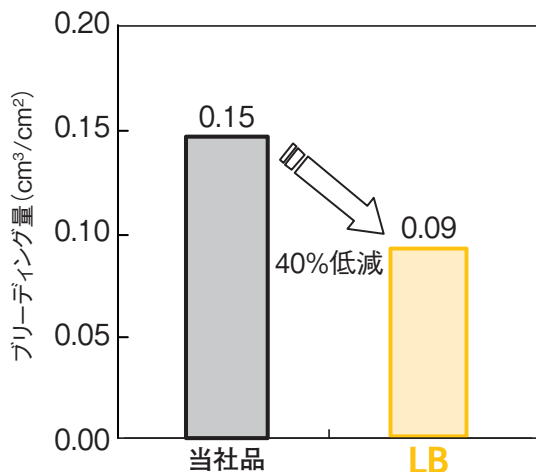
注) 自社で実施した試験結果 (H29年2月)

## 試験結果例

配(調)合	W / C (%)	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )			
		水	セメント	細骨材	粗骨材
27 - 15 - 20N	55	165	300	803	1020

混和剤種類	使用量 (C × %)	フレッシュ試験結果		プリーディング量 (cm <sup>3</sup> /cm <sup>2</sup> )	プリーディング率 (%)
		スランプ (cm)	空気量 (%)		
当社品 (標準形)	1.0	14.0	4.5	0.15	3.58
LB	1.5	14.0	4.5	0.09	2.23

使用材料 セメント:普通ポルトランドセメント 密度 3.16g/cm<sup>3</sup>  
 細骨材:山砂 密度 2.59g/cm<sup>3</sup>, 吸水率 1.94%, FM 2.71  
 粗骨材:硬質砂岩碎石 密度 2.65g/cm<sup>3</sup>, 吸水率 0.49%, FM 6.83  
 配(調)合条件 目標空気量:4.5% 粗骨材かさ容積:0.61m<sup>3</sup>/m<sup>3</sup>



## 取扱い上の注意

- フローリック製品が皮膚に付着した場合には、清水で洗浄してください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに吐き出し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合には、清水で洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 詳細は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。
- 原液の粘度が高いため、使用量や環境温度により、使用するポンプによっては計量が出来ない場合があります。その際は希釈品をご使用されるか、当社の担当者にご連絡ください。

## 荷 姿

タンクローリ



本 社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-10-1 TEL.03-5960-6911 FAX.03-5960-6915

ホームページ：<http://www.flowric.co.jp>